

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 4 区分
【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2002-133845 (P2002-133845A)
【公開日】平成 14 年 5 月 10 日 (2002.5.10)
【出願番号】特願 2000-324163 (P2000-324163)
【国際特許分類】

G 1 1 B 33/02 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 33/02 5 0 3 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 24 日 (2007.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】シャッター構造、及びオーディオ機器

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転軸を有し、記録媒体の挿排口を開閉するシャッターと、
前記回転軸に設けられたカムと、
前記カムのカム面を押圧し、前記シャッターを前記挿排口の閉鎖方向に付勢する押圧部材と、を備えることを特徴とするシャッター構造。

【請求項 2】

記録媒体の挿排口を有する筐体と、
回転軸を有し、前記挿排口を開閉するシャッターと、
前記回転軸に設けられたカムと、
前記カムのカム面を押圧し、前記シャッターを、前記挿排口を閉鎖する方向に付勢する押圧部材と、を備えることを特徴とするオーディオ機器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、シャッター構造、例えばオーディオ機器の記録媒体を挿排する挿排口を開閉するためのシャッター構造、及び該シャッター構造を有するオーディオ機器に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、回転軸を有し、記録媒体の挿排口を開閉するシャッターと、前記回転軸に設けられたカムと、前記カムのカム面を押圧し、前記シャッターを前記挿排口の閉鎖方向に付勢する押圧部材と、を備えることを特徴とするものである。

。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、記録媒体の挿排口を有する筐体と、回転軸を有し、前記挿排口を開閉するシャッターと、前記回転軸に設けられたカムと、前記カムのカム面を押圧し、前記シャッターを、前記挿排口を閉鎖する方向に付勢する押圧部材と、を備えることを特徴とするものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】